

ソフトボール男子アジア選手権

日本7連覇 小山、黒岩ら県勢貢献

ソフトボール男子の第11回アジア選手権は3～6日、高知県四万十市の四万十スタジアムなどで行われ、日本が7連覇を達成した。国内最速右腕の小山玲央(平林金属、佐世保西高出身)ら長崎県勢もチームに貢献した。

U23も初代王者に 松尾ら躍動

日本は1次リーグから決勝までの6試合をすべて7点差以上で快勝した。小山はインドとの開幕戦で先発するなど、計3試合6イニングを無失点。黒岩誠彦(トヨタ自

動車、大村工高出身)もフィリピンとの決勝で適時打を放つなど、攻守で気を吐いた。浜本悌(平林金属、島原高出身)は足首の捻挫で出場しなかった。

この優勝で日本はワールドカップ(11、12月・ニュージーランド)の出場権を獲得。前回2019年大会は過去最高に並ぶ準優勝を果たしており、今回は悲願の金メダルを目指す。



【アジア選手権1次リーグ、インドー日本】2回無失点と好投した日本の先発小山(平林金属) 四万十スタジアム

【U23アジア選手権リーグ戦、日本ーインド】1回表日本無死一、三塁、松尾(デンソー)が3ランを放ち、ベンチでハイタッチ 四万十スタジアム



この大会でも長崎県勢が躍動した。インドとの第3戦では初回無死三塁から3番佐藤光希(トヨ

▽順位 ①日本
本9ー2フィリピン
本7ー0シンガポール
本7ー0シンガポール
本9ー0インド
本6ー0シンガポール

▽決勝
本9ー2フィリピン

【U23アジア選手権】
▽リーグ戦
本7ー0インド
本7ー0シンガポール
本9ー0インド
本6ー0シンガポ

▽2次リーグ
本7ー0フィリピン
本7ー0シンガポ

▽1次リーグA組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

【アジア選手権】
▽1次リーグA組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

▽1次リーグB組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

▽1次リーグC組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

▽1次リーグD組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

▽1次リーグE組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾

▽1次リーグF組
本14ー0インド
本24ー0香港
本10ー0台湾